

目的

- ・海外チームと対戦し同世代の選手達のプレーを肌で感じる
- ・積み上げて来ている事が海外でも通用するのかをチャレンジする



結果

■ イタリア 親善試合

U-18 2-0(1-0) フィオレンティーナU-19

■ オランダ Copa del Agatha 20分ハーフ

U-18 0-1(0-1) FCコペンハーゲン (デンマーク)

U-18 0-1(0-0) アトレチコパラナエンセ (ブラジル)

U-18 1-1(1-1) フェイエノールト (オランダ)

U-18 3-1(2-0) レッドブルブラジル (ブラジル)

U-18 0-1(0-0) アンデルレヒト (ベルギー)

■ ドイツ 親善試合

U-18 4-2(2-0) ドルトムントU-19



成果・課題

- 前線からチームとしてアグレッシブな守備をし続けることができた
- 個の守備力(ボールを奪う、駆け引き、予測)
- 攻撃時に、より多くの選手の効果的な関わりから崩す場面が多く作り出せた
- ゴール前の質(ラストパス、フィニッシュ)



総括



- ヨーロッパだけでなく、南米のチームとも試合をすることができた
- 日本とは異なる環境でサッカーを経験できた
(ピッチ、ボール、移動、時差)
- 海外遠征を経験している選手と初めての選手の意識差を感じた